



## VWグループの前夜イベントがすごい

アウディ、ボルシェ、ランボルギーニ、ベントレーなど、数多くのブランドを持つフォルクスワーゲン。フランクフルトショーの開幕前夜には、それらのブランドのショーでの注目車を一堂に集めて紹介する恒例のイベントが開催される。世界中から集まるプレスはものすごく、この熱気を見るだけでフォルクスワーゲン帝国の大きさを実感する。



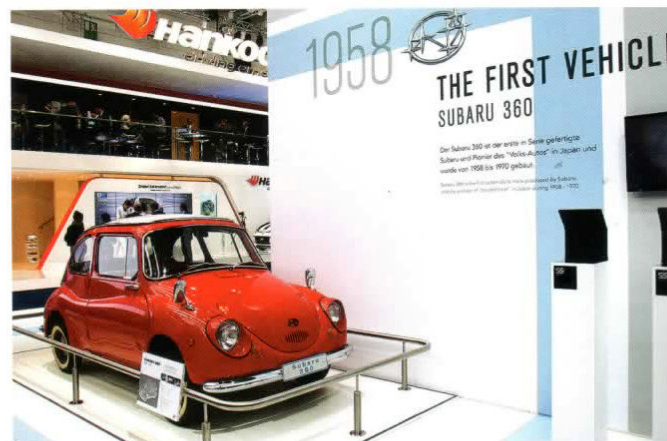
## 栄光のマシンも登場

ボルシェブースには、1970年代前半にルマンなどで大活躍した917が展示されていた。917スパイダーに負けないほどの存在感はさすが。この車両は71年のルマン総合優勝車。



## ルノー・スポールのニューマシン!?

ルノーブースで発見したのは、妙に迫力のあるトゥイージー。実はこれ、ルノー・スポールが手がけたクルマで、F1譲りのKERSテクノロジーを採用し、ブース時には100psのパワーを発揮し、最高速度は110km/hに達するという。タイヤやウイング、ステアリングなど、まさに小さなF1といった感じで、カッコいい。



## てんとう虫がドイツに飛来

スバルブースの裏手にひっそりと置かれていたスバル360。確か3月のジュネーブショーでも白いスバル360が展示されていたので、最近のスバルは欧米でヘリテージを積極的にアピールする方針なのかもしれない。来場者の注目もかなり高かった。

## 究極の輝きを実現するコーティング



世界のモーターショーの現場でも活躍しているプロフェッショナル・コーティングショップが「カービューティマックス」だ。同ショップのコーティングは事前の下処理から施行、仕上げまでを徹底的にこだわりぬき、まさに究極ともいえる仕上がりを誇っている。ガラスコーティングやポリマーコーティング、ウインドガラスコーティングなどメニューも多彩。それらのコーティングの効果を最大限に引き出すための技術には、絶対の自信を持っているという。自慢の愛車をモーターショーレベルの輝きにしたいと思っている方、ぜひ一度相談に行ってみよう。



カービューティマックス  
http://www.max1996.com



## クリオV6の再来か!?

懐かしの「ベビーギャング」という言葉が似合いそうなこのクルマは、ルノーのTwin'Run。チューブラーフレーム構造で、320psを発揮する3.5ℓのV6エンジンをミッドに搭載する。走りもすごそうだが、その可愛らしいスタイルも魅力的。ぜひ市販化して欲しい!

